

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 弊社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
 を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
 何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 27 年 10 月 5 日（月）ご依頼分より

■新規項目内容一覧

| 項目 コード | 検査項目 | 検体量 (mL) | 容器 | 保存 (安定性) | 所要 日数 | 実施料 判断料 | 検査方法 | 基準値 (単位) | 備 考 |
|-----------|----------------------------------|-------------|----|--------------|----------|------------|-------|---|---|
| 3931 | L型脂肪酸結合 蛋白(L-FABP) [CLEIA] | 部分尿 2.0 | Y | 冷蔵 (14日間) | 2~4 | 210 ※1 | CLEIA | L-FABPク リアチニン 換算値 7.24 以下 ($\mu\text{g/gCr}$) |  凍結保存および他 項目との重複依頼 は避けてください。 酸性蓄尿は検査値 に影響を及ぼす場 合がありますので、 避けてください。 室温保存ではデー タ影響が認められ るため、速やかに冷 蔵保存にてご提出 ください。 |

※1：尿・糞便検査判断料

●今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただく予定です。

| 項目コード | 項目名 | 受託中止予定日 |
|-------|-------------------|--------------------------------------|
| 3910 | L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP) | 平成 27 年 10 月 30 日（金） ご依頼分をもって受託中止 |

●L 型脂肪酸結合蛋白（L-FABP）[CLEIA]

糖尿病性腎症や急性腎不全の早期診断、腎疾患の予後を推測するのに有用です。

L-FABP は、腎臓の近位尿細管に発現する分子量 14kDa の可溶性蛋白であり、腎臓の再吸収機能を担う尿細管において、エネルギー代謝や脂質代謝に重要な役割を担っています。

L-FABP は、近位尿細管が虚血や酸化ストレスの負荷を受けると発現が増強し、尿中への排出が増加することから、組織障害が進行する前のストレスの程度を反映する新しいバイオマーカーとされています。

本項目は、検出感度の向上により、既存項目と比べ早期の検出が可能になると考えられます。

▼疾患との関連

●腎疾患、●糖尿病

▼ 関連する主な検査項目

●尿中Ⅳ型コラーゲン、●シスタチン C

▼検査要項

| | |
|----------|--|
| 検査項目名 | L型脂肪酸結合蛋白（L-FABP）[CLEIA] |
| 項目コードNo. | 3931 |
| 検体量 | 部分尿 2.0 mL |
| 容器 | Y 尿用容器 |
| 保存方法 | 冷蔵保存してください |
| 所要日数 | 2~4日 |
| 検査方法 | CLEIA |
| 実施料 | 210 点（「D001」尿中特殊物質定性定量検査の 15） |
| 判断料 | 34 点（尿・糞便検査判断料） |
| 備考 | ■ 凍 凍 凍結保存および他項目との重複依頼は避けてください。 酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので、避けてください。 室温保存ではデータ影響が認められるため、速やかに冷蔵保存にてご提出ください。 |

●参考文献

富田健一郎，他：医学と薬学 72（8）：1389~1395，2015。（検査方法参考文献）
上条一也，森敦子，他：MEBIO 27（1）：58~63，2010。